

FLOOR TOP AQUA W#5000



特 長

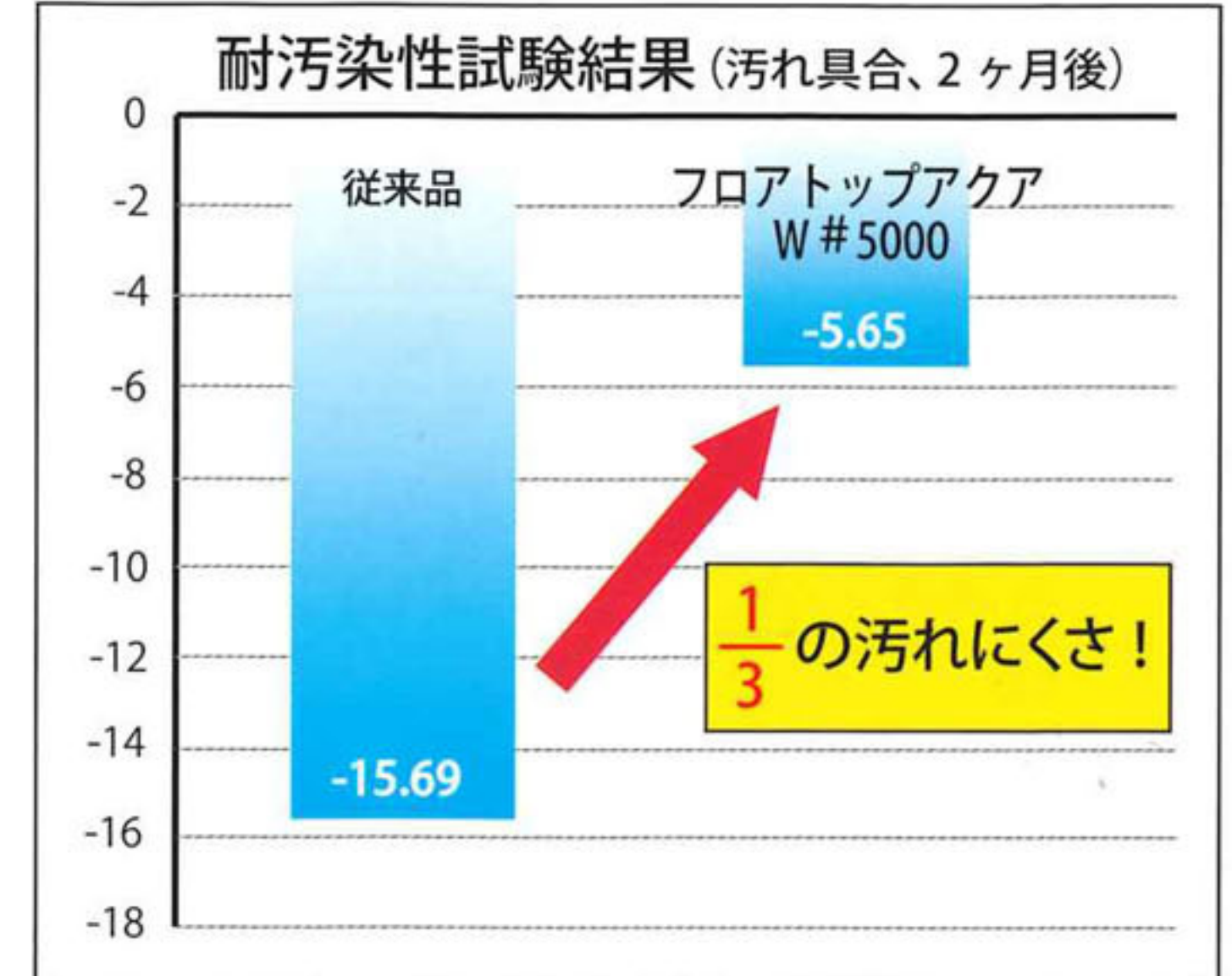
- ▷ 従来の水性床用塗料（1液アクリル）と比較して大幅に汚れにくくなり、長期間美しさを保つため、塗り替え回数が減らせコスト低減につながります。



水性アクリル
(左:耐汚染試験前 右:試験後2ヶ月)



フロアトップアキュアW#5000
(左:耐汚染試験前 右:試験後2ヶ月)



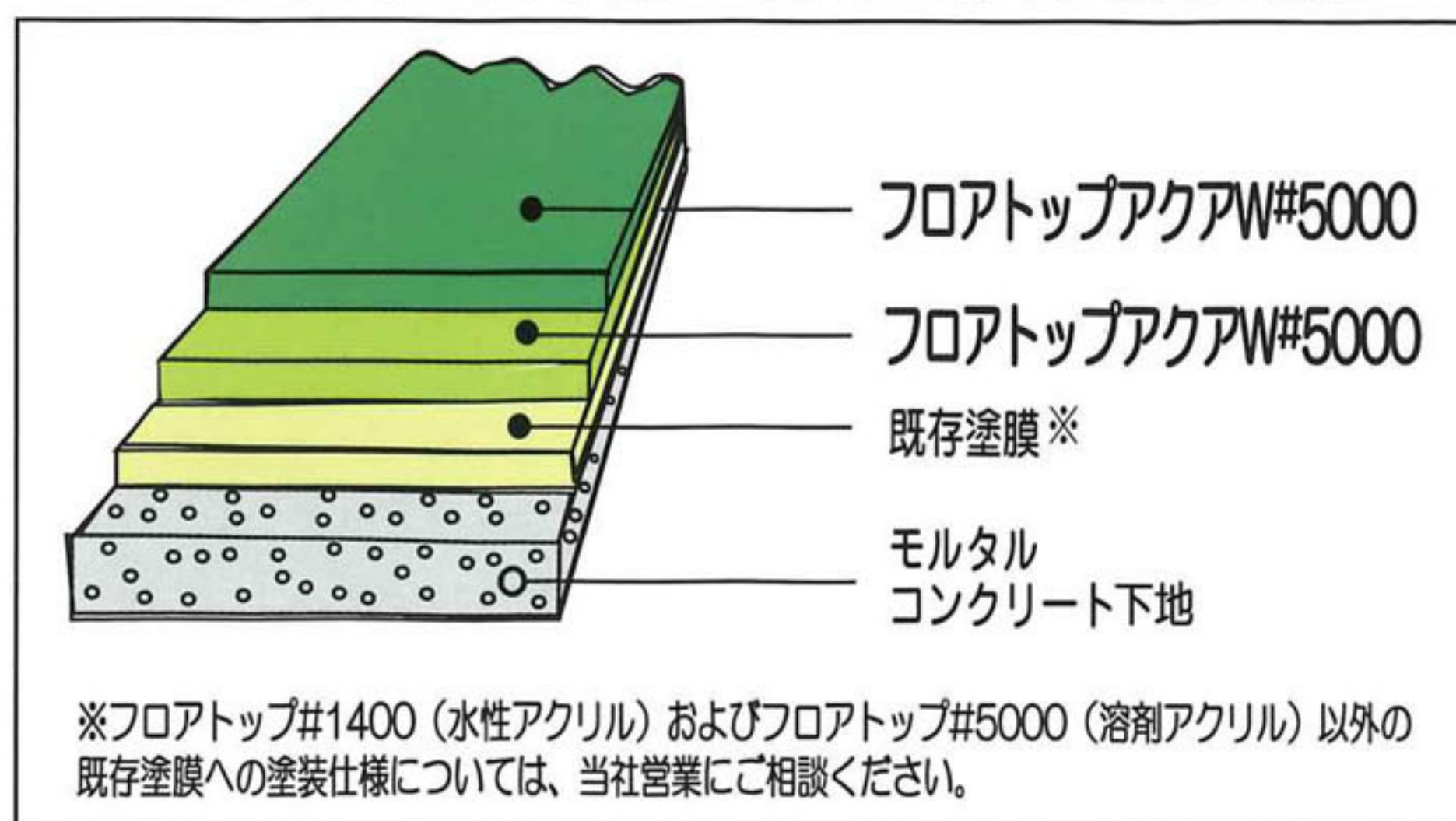
フロアトップアキュアW#5000の汚れ具合は2ヶ月の当社倉庫暴露試験で従来品に比べ3分の1! とても汚れにくくなりました。

- ▷ 水性1液タイプで、初めての人でも安全・簡単に塗れます。
- ▷ 厚生労働省指針環境13物質非含有をはじめ、RoHS対応で、安心して使えます。
- ▷ 非危険物なので保管場所を選びません。

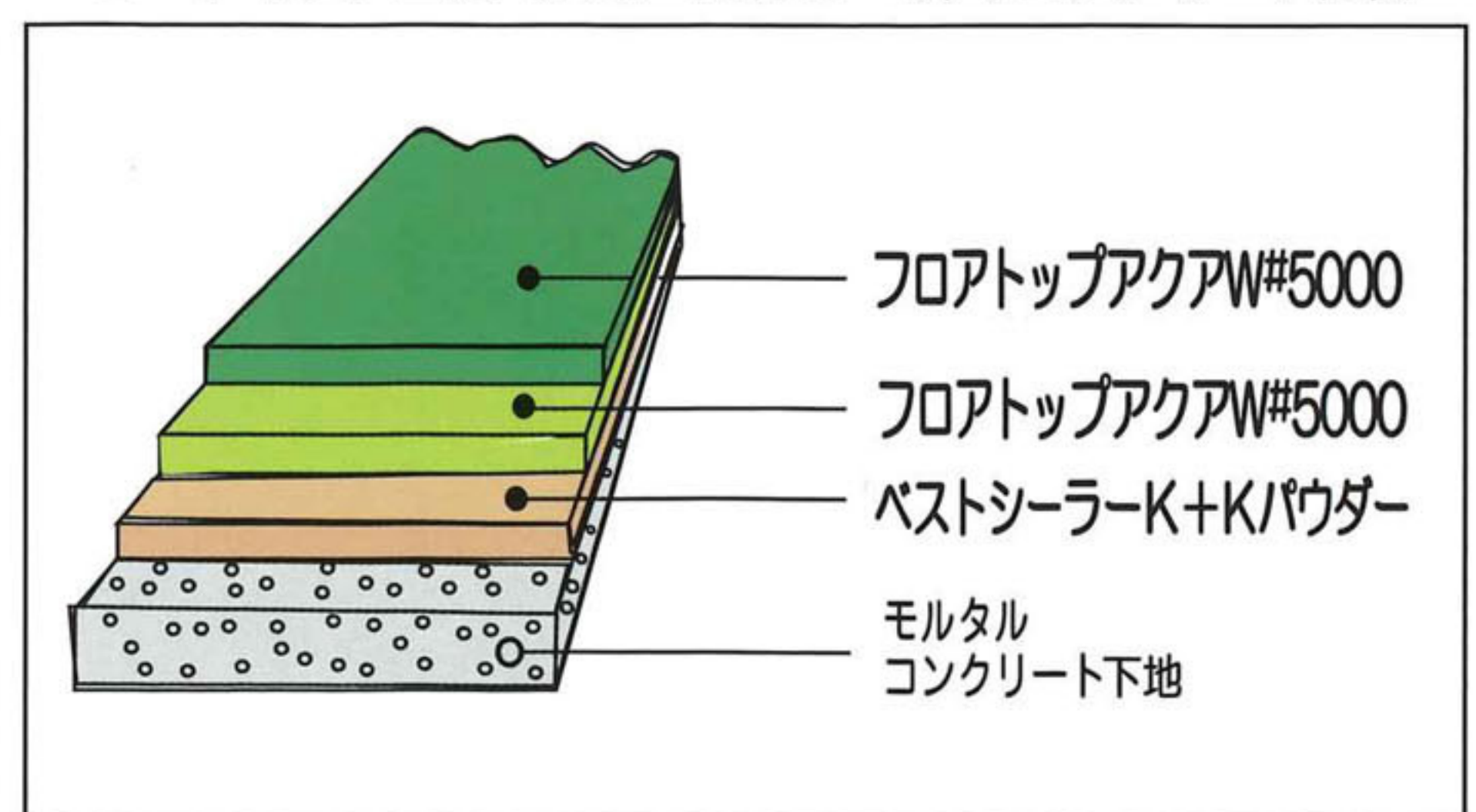
	消防法	厚生労働省指針 環境13物質	有機溶剤中毒 予防規則	特定化学物質 障害予防規則	保護具	保管
フロアトップアキュア W#5000	非危険物	非含有	対象外	対象外	防塵マスク	一般倉庫

工程図

コーティング工法 (AQ-AWR-I) / 塗り替え仕様



コーティング工法 (AQ-AWS-I) / コンクリート仕様



施工仕様例

〔コーティング工法(AQ-AWR-Ⅰ)〕

水性および溶剤アクリル系既存塗膜の塗り替え仕様

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 上塗り①	フロアトップアクアW#5000	清水	5～10	0.15	4以上
3 上塗り②	フロアトップアクアW#5000	清水	5～10	0.15	—

注)フロアトップ#1400(水性アクリル)およびフロアトップ#5000(溶剤アクリル)以外の既存塗膜への塗装仕様については、当社営業にご相談ください。

〔コーティング工法(AQ-AWS-Ⅰ)〕

コンクリート面仕様

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	—	—	—	—	—
2 下塗り	ベストシーラーK + Kパウダー※1	—	—	0.15 0.03	3以上 ※2
3 上塗り①	フロアトップアクアW#5000	清水	5～10	0.15～0.20	4以上
4 上塗り②	フロアトップアクアW#5000	清水	5～10	0.15	—

※1: Kパウダーは必ず加えてください。※2: 冬場の塗装間隔についてはご相談ください。

可使時間 (気温23℃・湿度50%)	ベストシーラーK+Kパウダー	8時間※3
	フロアトップアクアW#5000	—
養生時間 (気温23℃・湿度50%)	歩行開放	12時間以上
	重量物開放	24時間以上

※3: 沈殿しないようローラーはけで撹拌しながら塗装を行った場合の時間です。

注意)

- ・塗布量は希釈剤を含んでいない量で、また下地状況や塗り方により塗布量が増減します。
- ・湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- ・既存塗膜の塗り替えであっても、コンクリート面が露出している場合は、ベストシーラーK + Kパウダーを塗装してください。
- ・プライマー塗装後の各気温での上塗り可能時間は、下表の通りです。低温時に塗装する場合は、当社にお問い合わせください。
- ・施工に関する詳細は、施工仕様書をご参照ください。

気温	10℃	15℃	23℃
上塗り可能時間	8時間	4時間	3時間

注 意 事 項

- ・施工前の事前調査で、既存塗膜の密着性を確認してください。また、既存塗膜とフロアトップアクアW#5000との密着性もあらかじめ確認いただくことをお勧めします。既存塗膜は当社フロアトップ製品群を想定した試験結果をもとにした仕様書です。既存塗膜が不明な場合は、当社までお問い合わせください。
- ・気温が5℃以下の場合、結露が予測される場合および降雨・降雪等で湿度が非常に高い場合は、塗装を避けてください。
- ・光沢のあるコンクリートの場合、ワックスが塗布されている可能性があります。その場合は、当社にご相談ください。
- ・下地処理は塗料の付着性を決定する重要な工程なので、十分な注意を払ってください。
- ・下地が濡れている場合は、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- ・希釈する場合は、規定量を守ってください。
- ・塗料を小分けする場合は、小分け前に十分に撹拌し、均一にしてから行ってください。
- ・塗料は使用前に十分に撹拌してから塗装してください。
- ・塗装中および乾燥中は、火気厳禁としてください。
- ・ベストシーラーKはカチオン型の塗料です。他の塗料と混合しますと、塗料がゲル化するおそれがありますので、絶対に混合しないでください。
- ・ベストシーラーKに使用する塗装用具は他の塗料が残っていないものを使用してください。他の塗料が混入すると異常(はけの固まり、塗料のゲル化、固まり等)が生じるおそれがあります。塗装後の塗装具の手入れは、塗料が残らないように十分に洗浄してください。
- ・Kパウダーは沈みやすいので注意してください。
- ・塗装間隔は厳守してください。プライマーの乾燥が不十分で上塗り塗装をした場合、上塗り塗膜にクラックを生じるおそれがあります。プライマーのたまり部分は拭きとり、乾燥させてから上塗りしてください。
- ・1回での厚塗りは避けてください。
- ・直射日光が当たり高温となる場所や、凍結するおそれのある場所を避けて保管してください。
- ・製品ご使用の際には、SDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- ・製品改良等のため、製品の中身・仕様は、将来予告なしに変更する場合があります。
- ・当仕様書に表示されている塗り面積・工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- ・本製品は、定められた用途以外に使用しないでください。また、ご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。



1. 缶を振り充分に撹拌してください。



2. 撹拌した塗料は、ローラーで縦横に十字を切るように塗るとキレイに塗ることができます。



3. 塗り終わりましたら、充分に乾燥させてから開放してください。

